

頭取メッセージ



取締役頭取 上村 基宏 ※クールビズスタイルにて撮影(平成23年6月)

当行は、「健全経営」、「地域貢献」、「顧客志向」、「企業活力」の4つを企業理念に掲げ、今日まで業績も順調に進展し、地域に根ざすリーディングバンクとしてゆるぎない基盤を築いてまいりました。

しかしながら、国内経済は、輸出や生産活動、雇用・所得環境において持ち直しの動きがみられた中、平成23年3月に東日本大震災が発生し、大きな影響を受けています。また、当行が主たる営業基盤とする鹿児島県・宮崎県についても、雇用情勢や観光関連が低調に推移するなど厳しい状況が続く一方で、3月に地域にとって念願であった九州新幹線鹿児島ルートが全線開業しました。

《3年目、その先の飛躍に向けて》

このような経済環境の中、当行では、現在推進中の第4次経営戦略計画(略称:第4次マスタープラン)が最終年度となる3年目を迎えました。

本計画では、3年間で「効率化・基礎固めの2年、飛躍の3年目」と位置付け、「営業基盤強化」、「経

営効率化」、「人材育成強化」の“3つの柱”に沿って戦略を展開しています。

「営業基盤強化」では、事業者のお客様向けビジネスモデル「営業利益改善支援活動」を徹底するとともに、当行が成長分野ととらえている「医業」、「農業」、「環境」分野へ積極的に取り組んでいます。個人のお客様向けにも一生涯のメインバンクとしてご利用いただくために、ローンや資産運用における商品性向上等に取り組んでいます。

「経営効率化」では、マーケット特性に合わせた店舗機能の見直しとして、一部店舗を個人特化店や代理店に移行するとともに人員配置の適正化に取り組んでいます。また、お客様をはじめ皆様方のご協力のもと、平成23年5月に基幹系システムの更改を無事終えることができました。

「人材育成強化」では、より質の高いサービスを提供していくために、長期的展望に立った強い人材を育成するための体系を整備し、運用していきます。

これまでの2年間に培ってきた取組みをさらに徹底・強化させながら、本年度を「飛躍の3年目」とするとともに、その先のさらなる飛躍へつなげていきます。

《地域発展のムーブメント》

当行にとって「地域貢献」は企業理念の一つであり、地域との共存共栄は最大の使命であります。

地域経済においては、長引く景気低迷や急速な少子高齢化の進行、人口減少などのマイナス要因がある一方で、九州新幹線鹿児島ルートの特急全線開業による南九州の高速交通体系網の整備という追い風もあります。

このような状況だからこそ当行はこれから、地域の特長を活かしつつ地域発展のために、「金融のインフラ」としての本業のみならず、地域に対し何ができるかを役職員全員が真剣に考え実践していきます。さらに、当行の考えを示し、賛同いただける地域の方々を増やしながら、取組みを地域全体に波及させていく、すなわち「地域発展のムーブメント」を起こし、地域経済全体を活性化させていきたいと考えております。

なにとぞ、今後とも一層のお引き立てとご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。